

今後のVOC排出抑制のための自主的取組における
取組の目指すべき方向性及び方策について
(個票)

1	日本染色協会	3
2	日本製紙連合会	4
3	日本鉄鋼連盟	5
4	電機・電子4団体	6
5	日本塗料工業会	7
6	日本自動車部品工業会	8
7	日本自動車工業会	9
8	線材製品協会	10
9	日本伸銅協会	11
10	全国鍍金工業組合連合会	12
11	日本電線工業会	13
12	日本アルミニウム協会	14
13	日本建材・住宅設備産業協会	15
14	天然ガス鉱業会	16
15	石油連盟	17
16	日本化学工業協会	18
17	日本印刷産業連合会	19
18	ドラム缶工業会	20
19	アルミニウム合金材料工場塗装工業会	21
20	日本プラスチック工業連盟	22
21	日本オフィス家具協会	23
22	日本表面処理機材工業会	24
23	日本自動車車体工業会	25
24	日本接着剤工業会	26
25	プレハブ建築協会	27
26	印刷インキ工業会	28
27	日本工業塗装協同組合連合会	29
28	日本ゴム工業会	30
29	日本自動車車体整備協同組合連合会	31
30	日本粘着テープ工業会	32
31	全国楽器協会	33
32	日本釣用品工業会	34
33	日本金属ハウスウェア工業組合	35
34	日本金属洋食器工業組合	36
35	日本ガス石油機器工業会	37
36	日本石油商業組合連合会	38
37	産業環境管理協会	39

令和8年3月23日

団体名：(一社) 日本染色協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

平成22年度比で悪化しないように取り組んで行く。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ・ 溶剤（VOC）を使用する薬剤から水溶性薬剤への転換
- ・ 塗布面積を減らすことによる削減
- ・ 生産プロセスの見直し
- ・ ターペン使用量の削減
- ・ 回収装置の導入及び活用

(方向性と方策)

令和8年3月23日

団体名：日本製紙連合会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

- ①自主行動計画では排出量の多かった5物質のみを管理していたが、現在は排出している全ての物質(現在67物質)を管理しており、これを継続する。
- ②今後とも2010年度比で悪化しないように努める。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ①薬品の代替化
- ②製造工程の管理強化

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

当連盟では、平成17年にVOC排出抑制に関する自主行動計画を策定し、会員会社における自主的取組を促進した。その結果、同取組の目標（※）を大きく上回る排出削減（約56%減）を達成した。

これを踏まえ、平成23年度以降は会員各社のVOC排出状況のフォローアップを行っており、当該フォローアップの継続等を通じ、当業界の平成22年度の排出状況を悪化させないように引き続き努めることとする。

※当連盟自主行動計画の目標：
VOC排出量を平成22年度までに平成12年度比で30%削減。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

会員各社におけるVOC排出状況のフォローアップを行い、全体としてVOC排出量が増加する傾向が見られる場合は、要因分析を行うとともに、VOC排出量が増加傾向にある会員会社のVOC排出抑制の取組状況のヒアリング等を実施する。

(方向性と方策)

令和8年3月23日

団体名：電機・電子4団体

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

電機・電子4団体*として、少なくとも2010年度（平成22年度）比で悪化しないよう努める。

*電機・電子4団体：

一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会

一般社団法人 電子情報技術産業協会

一般社団法人 日本電機工業会

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

VOCの排出抑制に繋がる生産プロセスや材料の見直し、作業の合理化。

令和8年3月23日

団体名：日本塗料工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

1. 一般社団法人 日本塗料工業会(日塗工)は改正大気汚染防止法の施行(平成18年4月1日)に先立って、平成15年12月から「塗料・塗装によるVOCの排出抑制」に取り組んでおり、合わせて塗料の出荷量からVOC排出量を推計し、その結果を毎年報告している。塗料からのVOC排出推計量は、基準年度である平成12年度の535千トンに対し、平成22年度は294千トンと45%削減、令和5年度は214千トンとなり60.0%削減された。

今後もVOC排出量推計を継続し、塗料・塗装によるVOCの排出抑制に取り組む。具体的には、平成22年度比で悪化しないよう漸減を目指す。各分野においてVOC削減の努力は引き続いてなされており、期限は当面定めない(現時点で無期限)。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

1. 日塗工では技術委員会のもとにVOC排出抑制分科会を設置し、業界一丸となってVOC排出抑制に取り組む。

(1) 生産プロセスの見直し、タンク等からのVOC揮散低減

(2) 塗料のハイソリッド化、水性化の推進によるVOCの削減

(3) 塗装方式等の改良によるVOC排出削減

2. 日塗工の出版物、日塗工主催の各種セミナー、塗料産業フォーラム等を通じて業界、取引先などサプライチェーン全体で取り組まれるよう普及・広報に努める。

令和8年3月23日

団体名：一般社団法人 日本自動車部品工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

平成22年度までに取り組んだ内容を今後も継続実施するとともに新たな方策も加え推進する。また、会員会社へ積極的に改善策を啓発していくことで、排出状況を悪化させないように努めることとする。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ① VOCの排出抑制に繋がる生産プロセスや作業方法の導入等の削減対策の情報共有をはかり、抑制対策の推進を行う
- ② 材料変更や生産プロセスの効率化等の見直し、作業の合理化を行う
- ③ 業界や取引先などサプライチェーン全体で取り組まれるような事例等の周知を継続実施する

(方向性と方策)

令和8年3月23日

団体名：(一社)日本自動車工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

自工会全体として、2025年度のVOC排出量原単位(g/m²)を、2010年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

取組みの方策	具体的事例
①塗着効率向上	高塗着効率ガン導入、ホットティーン [®] 見極め、手吹き補正塗装削減による塗着効率向上
②洗浄シンナー対策	シンナー回収率向上対策(ホップ大型化、回収ホッパー及び配管メンテナンス性向上等見直し)
③カートリッジタイプ塗料の採用	カートリッジ壁掛け塗装ホット導入
④ハイソルト塗料の採用	低VOCクリア塗料導入
⑤水系塗料の採用	水系塗装ライン導入、プライマー、ベースの水性化、電着1コート化
⑥その他	塗装プログラム最適化によるVOC低減、3C2B塗装、RTO設置、色替洗浄経路の短縮、脱臭炉設置 他

1. 取組の目指すべき方向性

※別添「考え方」の2.(1)「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後(又は3年後)に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

5年後(令和11年度)において、平成22年度対比で悪化しないよう継続してVOC排出抑制に取り組むこととする。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、別添「考え方」の2.(2)「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

既存施策(VOC回収装置の稼働、一部VOCを含まない溶剤・接着剤の使用)を継続するとともに、VOCを含まない溶剤・接着剤の開発・導入・適用の拡大を図る。

令和8年3月23日

団体名：(一社)日本伸銅協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

業界全体として、5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ①一義的にはコストダウンを目的とするものの、結果的にVOCの排出抑制に繋がる生産や作業方法を導入してゆく。
- ②必要に応じて、代替品への切替を推進する。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

全国鍍金工業組合連合会では、平成7年度より洗浄分野で使用するトリクロロエチレン等の有機溶剤の大気排出削減の自主的取組を継続している。平成22年度の排出量は平成12年度比で37.6%減となり、国の目標（30%減）を達成したものの、平成21年度比より増加した。平成23年度以降の排出量は、平成21年度を下回る水準で推移しており、令和6年度においても、令和1年度（コロナによる景気低迷が始まる前）を上回らない水準を維持している。今後も引き続き、令和1年度比での更なる削減を目標とし、排出量の悪化を防ぐとともに、継続的な改善に取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

今後も排出削減の自主取り組みは継続する。個々の事業所においては、これまでにプロセスの見直しや、作業方法の改善等、具体的には下記の方法が検討され、推進している。

①生産プロセスの見直し

- ・使用の廃止を目標に掲げる。
- ・代替品の検討
- ・処理対象品の見直しや制限
- ・顧客への働きかけ 等

②VOCの排出抑制に繋がる生産や作業方法の導入、改善

- ・洗浄槽のこまめな蓋閉めの励行
- ・同上のこまめなヒーターのON-OFFの励行
- ・局所排気の適正化
- ・冷却管のメンテナンス
- ・作業時間の制限 等

個々の事業所において今後ともこれらの改善努力を継続していくこととする。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

当工業会では、これまでも当会会員社挙げてVOC排出量削減に取り組んできた。今後（少なくとも3年後）も平成22年度レベルを悪化させないように、継続してVOC排出量の削減・管理に努める。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

VOC排出量抑制に向け、今後も会員社における、作業・生産工程の見直し、設備更新、使用削減の検討等を進める。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

当協会は基準年度の平成12年度比で排出量削減率65%を目標に自主行動計画に取り組み、平成23年度に85%を達成した。

その後、平成22年度のVOC排出量（343トン）比で悪化しないように取り組みを続け、平成30年度まで継続してこの値を下回る排出量を維持した。

令和元年度以降の5年間については目標を引き上げ、平成26年度の排出量（338トン）比で悪化しないように取り組み、これを達成した。

令和7年度以降の5年間については目標をさらに引き上げ、令和2年度の排出量（181トン）比で悪化しないように取り組んでいく。

(※直近5年間（令和2～6年度）で最も高かった令和2年度のVOC排出量181トンを新たな目標値とした。)

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ①VOC関連法令を遵守するとともに、法の趣旨を尊重した活動を継続する。
- ②VOC排出抑制に資する生産工程の合理化改善を継続する。
- ③生産工程でのVOC排出抑制が可能なエコ製品をユーザーへ提案する。
- ④VOC排出抑制に資する情報があれば、協会内委員会でも情報交換と周知を図る。

1. 取組の目指すべき方向性

(記入欄)

- ・今まで取り組んできた内容を継続実施する他、設備改善の際には排出状況の改善にも資する様配慮するなど努力する。
- ・今後の目標値として、少なくとも平成22年度比で悪化しないよう、取り組んで行く。

2. 取組の方策

(記入欄)

- 上記実現のため、引続き下記の対策を実施していく予定です。
- ◎使用量の削減
 - ・塗装および接着用途における代替物質への切り替え
 - ・塗装工程および接着工程における使用量原単位の維持または向上
 - ・水系塗料などへの塗料種類の変更
 - ・塗着および塗布における、効率および歩留まりの向上
 - ・ユリア・メラミン系接着剤の接着力向上による接着剤使用量の削減
 - ・プロセスの変更などを検討する場合には、VOC排出に関して充分配慮しつつ取り進める。
 - ◎排出量の削減
 - ・塗料、溶剤および接着剤等の低揮発製品への代替化
 - ・塗装工程における洗浄用溶剤の回収強化
 - ・VOC含有率の低減化が図られている塗料を検討する
 - ・内添式キャッチャー剤の検討、検査工程でのキャッチャー剤塗布の検討
 - ・キャッチャー剤の改良および新規キャッチャー剤の検討
 - ・低ホルムアルデヒド接着剤の改良
 - ・非ホルムアルデヒド系接着剤への切り替えと改良
 - ・VOC除去装置の導入
 - ◎削減に向けた業界、取引先との連携、協働
 - ・VOC自主表示制度を活用し、各企業および取引先への説明会の開催、周知等による意識の向上と更なる削減
 - ・厚生労働省が定める室内VOC濃度指針値のうちエチルベンゼンの数値が2025.1.17に改定されたため、既存登録品の移行対応に向けて準備を進める。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

全体の排出量を当初の削減目標をクリアした平成23年度の排出量以下を維持するように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

自主行動計画の取り組みとして特定した4つの排出源（原油貯蔵タンク、グライコール再生装置、脱炭酸ガス装置、原油積出装置）に関して実施した対策による削減量を維持するべく、それぞれの除去装置等の適正な運転管理及びその他操業管理等による削減対策を継続し、排出量削減を維持する。また、放散が不可避な作業においても可能な限り燃焼し排出量を削減する。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

- ・ これまでに有害大気汚染物質対策・炭化水素排出削減対策として取り組んできた対応を踏まえ、引き続き VOC 排出抑制の継続に努め、総排出量が平成22年度レベルから悪化しないように取組を維持する。
- ・ 「全体としては少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」ことの取り組みについては、経済活動量に影響もあることから、複数年度の排出量の平均値で評価することが適当と考える。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ・ これまでに実施してきた大気中への炭化水素系物質排出削減のための各種対策に関連する施設・設備の適切な維持管理を行い、引き続き削減効果を維持していくと共に、可能な範囲で VOC 排出量の少ない設備を活用できる様な流通の合理化等を図り、排出抑制に努める。
- ・ フォローアップとしては、これまでの VOC 排出量削減自主行動計画の排出総量把握・報告を経済産業省を通じて継続していく。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

【考え方】

- ①日化協 2025 年度自主目標を展開する。但し、経済活動量の大幅な増加やトラブル等による例外的な状態ではなく、通常状態を前提とする。
- ②定量的かつ統一した数値目標は設定しない。会員企業の自主的な取り組みとする。
- ③有害性の高い物質については、必要に応じて個別に自主目標を定め、職場環境改善などを通じたVOC排出削減に努める。

【目指すべき時期・方向性】 日化協 2025 年度自主目標

「PRTR/VOC 排出量を 2020 年度以降も、2010 年度比非悪化とする。また、有害性の高い物質については、個別に継続して削減に努める。」

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ① これまで取り組んできたVOC排出抑制対策を講じた設備・機器の運転・維持管理の強化および排出量の算出方法の精緻化
- ②生産設備・機器の安定運転の維持、安全運転の強化
- ③設備・機器での「運転方法改善、排ガス回収・再利用、プロセス合理化などの省資源の取り組み」「有機溶剤取扱設備での作業環境改善」などを通じたVOC排出抑制の推進
- ④製品品目の見直しによる大気排出量原単位の低減
- ⑤産廃処理事業者への定期現地確認等によるVOC排出抑制の推進

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

印刷業界の VOC 排出削減率は、平成 22 年度時点で、VOC 規制が導入される平成 12 年度比で 63%削減し、産業界の実績 56%を上回った。それ以降も 63%を大きく上回る実績を継続している。今後は 5 年後も直近 5 年間の平均削減率（80%以上）を維持するように取り組んでいく。

※参考

令和元年度 VOC 削減実績、平成 12 年度比	▲95,300 t	▲83%
令和 2 年度 VOC 削減実績、平成 12 年度比	▲91,400 t	▲79%
令和 3 年度 VOC 削減実績、平成 12 年度比	▲95,100 t	▲82%
令和 4 年度 VOC 削減実績、平成 12 年度比	▲93,300 t	▲81%
令和 5 年度 VOC 削減実績、平成 12 年度比	▲89,300 t	▲77%
令和 6 年度 VOC 削減実績、平成 12 年度比	▲90,800 t	▲79%

※：直近 2 年は 80%を下回っており各種委員会での意識啓蒙を図る。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

令和 6 年度の実績として削減率（平成 12 年度比）は 79%となり、目指すべき方向性で示した直近 5 年間の平均削減率（80%以上）をわずかが下回り目標未達成となった。令和 6 年は改善傾向であったが、要因としては、昨年度（令和 5 年度）のグラビア印刷関連での排出量増加が影響した。今後も削減努力を継続する。

「GP 認定制度」なども活用して参加企業を増やすことで、継続して環境意識を高めていく。

令和8年3月23日

団体名：ドラム缶工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

（記入欄）

ドラム新缶業界においては、これまで各事業者の努力により、実現可能な対策は概ね完了している。その結果、令和6年度のVOC排出量は平成12年度比で約42%削減と大幅な抑制を達成した。
今後は、この現行レベルを維持しつつ、さらなる抑制に向けた取組を中長期的な観点から継続的に検討・推進していく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

（記入欄）

前述のとおり、現時点で実現可能な対策は概ね完了している。今後は、低VOC塗料の開発や塗装技術の高度化による使用量の削減など、中長期的な取組について、ドラム缶工業会構成各社間で議論を深めていく。
また、各社の塗装乾燥炉の更新にあわせた排ガス処理設備の導入についても、結果としてVOC低減の効果が期待できる方策として考慮したい。

令和8年3月23日

団体名：アルミニウム合金材料工場塗装工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

VOC排出抑制の取り組みを継続して行い、全体として5年後に平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

※アルミ建築材料の塗装は、平成22年度を底に受注の回復傾向が見られ使用量が増加している中、設備のメンテナンス等を徹底し、塗着効率を落とさないようにして少なくともVOC使用量当たりの排出量の比を増加しないようにする。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

設備の高効率化、ハイソリッド塗料の採用などの対策は一巡した感があり、設備の塗着効率の維持のためのメンテナンスなどの取り組みを徹底していく。また、溶剤系塗料に変えて、VOCを含まない粉体塗料の採用を地道にアルミ建築ユーザーにPRしていく。当団体ではアルミ建築材料の塗装としての粉体塗料を普及させるために、創立以来各地で勉強会を開催し、十分屋外環境でも使用できることをPRしており、今後とも、環境に優しい粉体塗装の普及に努めていく。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

【考え方】

- 1) 平成22年度までの取組内容を今後も継続して実施、VOCの排出（抑制）状況を悪化させないように努める。
- 2) 定量的目標値は、当連盟としては設定せず、会員企業の自主的判断に委ねる。
- 3) 作業環境改善などを通じたVOC排出削減を推奨する。

【目指すべき時期・方向性】

2年後の令和8年度までの間、VOCの排出（抑制）状況が、平成22年度比で悪化しないように取り組む」

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- 1) 系を密閉化する
- 2) 該当物質用量を削減する
- 3) 反応率、回収率の向上を図る
- 4) 除去設備（既設）を利用する

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

従来の取組内容を今後も継続して実施し、VOCの排出（抑制）状況を悪化させないように努める。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

原材料の転換・削減として、低溶剤型塗料や低溶剤系接着剤への切り替え。
又、溶剤塗装から粉体塗装への切り替え。
作業方法について、塗装不良率の低減による使用量の削減。
設備導入・改良等では、塗装設備・機器の改善、更新。

令和8年3月23日

団体名：(一社)日本表面処理機材工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

会員企業一丸となって、今後5年についても平成22年度比の排出状況を悪化させないように努めます。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

VOC含有原料の切り替えの検討を継続的に実施致します。
VOC含有低減商品のユーザーへの使用働きかけを行います。
また、大気への排出元となるスクラバーの維持管理に努め、製造工程の見直しや作業効率化に取り組んでまいります。

令和8年3月23日

団体名：一般社団法人日本自動車車体工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

全体として2000年度比でマイナス50%に取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

・生産プロセスの見直し、作業の合理化を進めて行く

主な排出抑制対応策

排出抑制技術		対策の内容
塗着効率向上	ロボット塗装化	塗装条件の見直し(最適化)
洗浄シンナー対策	使用量低減	日常管理活動での低減
		色替洗浄シンナー低減
	回収	日常管理活動での回収率向上

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

全体として最低限、現状より悪化しないよう削減に取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ①水性形接着剤の移行を推進する。
- ②低・無溶剤型への移行を推進する。
- ③高固形分型接着剤への移行を推進する。
- ④4VOC（トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン）基準適合製品の自主管理制度を推進すると共に厳正に運用する。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

従来から対象としてきた「環境省が示す主なVOC物質100種」のうちPRTR法第一種指定化学物質に指定された46物質、および「国内におけるVOCの現状と抑制の取り組みについて」（2014年4月）を参考に17物質を加え、計63物質を対象とする。2016年に行った目標見直しでは上記63物質について、2010年比60%削減である年間VOC大気排出量285t以下の水準を維持するよう取り組むとした。

その後、2023年度実績が2010年比80%削減を達成（140.4t）、今後この水準を維持するよう取り組む。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

1) 塗料・接着剤の仕様変更・代替による削減

例) 外壁基材と仕上げ材の接着剤について仕様変更

外壁用塗装材料の仕様変更

設備・床用塗料のトルエンレス・キシレンレス・スチレンレス・エチルベンゼンレス品への切り替え

2) 製造工程見直しによる削減

例) 塗料吹き付けノズル角度の見直しによる塗料使用量の削減

外壁面材の固定方法の変更により、補修用に使用するVOC物質を削減

3) 場内におけるVOC物質の回収等による大気排出量の削減

例) 工程内で排出される化学物質の回収・無害化装置の導入

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

会員全体として、平成22年度比で悪化しないよう各社に排出抑制を呼びかけるとともに、各社においても前年比で増加しないよう要請している。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ① 施設・設備の密閉化
- ② 代替物質の使用
- ③ 燃焼式及び吸着式処理の拡充

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

工業塗装は、VOCを排出する塗料とシンナーを用い、塗装事業者の多くが噴霧塗装を採用している。塗装工程では、調合希釈時・塗装時・セッティング時・塗膜硬化乾燥時のいずれにおいても、溶剤の飛散や蒸発が発生している。塗装事業者は、発注側の作業指示による溶剤系塗料の指定から、VOC代替塗料への転換が進まず、自主取り組みの壁となっているが、昨今の環境配慮の高まりから顧客も環境配慮型塗料への移行を求める動きがある。また、人材確保の観点からも健全で安全な職場環境づくりが必須の状況である。

また、各組合会社は、生産性の向上を目的に溶剤系塗装における塗着効率化を図っており、結果的に使用塗料を削減している。また、使用溶剤の回収も実施している。今後の方向性としては、VOCを削減できる環境配慮型塗料として、電着塗料、粉体塗料、水性塗料の採用促進を図って行く。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

日本工塗連では、環境配慮型塗料への切替が遅い中、日常の塗装作業時に、容器からの溶剤揮発となる放置や機器洗浄時の飛散洗浄量削減など「今出来ることからの改善取り組み」を促進している。さらに、組合員会社への現場における改善指導として、他社工場における脱VOC取り組み現場の見学も継続実施している。また、若手経営者が参加する「工業塗装ともの会」の座談会においてもしばしば、VOC関連や塗料コスト削減のための方策を議論し、自社工場のVOC改善に結びつけている。今後として、さらなるVOC削減を推進する体制は出来上がっていると考える。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

・「平成22年度の排出量（平成12年度対比49%削減）未満である『平成12年度対比50%以上削減』を維持し、参加各社は引き続きVOCの排出削減に努める」ことを目標に取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

・生産プロセスの見直し、作業の合理化
（使用量の多い物質の削減、廃液管理の強化など）
・VOC排出抑制に繋がる生産や作業方法の導入
（無溶剤工程への転換）
（溶剤の回収および水性化など）

令和8年3月23日

団体名：日本自動車車体整備協同組合連合会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

組合員を調査対象とした令和7年度のVOCの排出状況は、車体整備市場の需要量の縮小もあり、平成12年度より73%削減した。
組合員全体として5年後に少なくとも令和7年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

塗装ブース等からの発生源対策として低圧のスプレーガンの使用を促進し、塗料の塗着効率の向上を図る。
塗料の保管・管理を徹底し、塗料の蒸発ロスの低減を図る。
スプレーガンの洗浄機器の使用の促進し、洗浄作業における揮発防止などの対策を図る。
引き続き、低VOC塗料の採用を推進する。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

今後、継続して平成29年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

1. VOCの大気排出抑制のための大きな設備投資は終了しているため、VOCの流出事故や漏れがないように設備点検、工程管理をしていく。
2. 有機溶剤を使わない製品の開発、転換をさらに進める。
3. VOCの使用量、排出量の報告を会員に求めることで、VOC削減の意識が働くため継続的に続けていく。

令和8年3月23日

団体名：一般社団法人 全国楽器協会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

（記入欄）

今後5年間について、平成27年度の排出量を超えないよう抑制に取り組む。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

（記入欄）

①VOC 使用量削減

工程合理化、設備改善、技能向上、歩留向上等による製造工程での地道な対策の継続

②使用物質の代替

塗料や接着剤等について、VOC 成分割合がより少ない物質への代替化をさらに推進

③廃ガス処理

廃ガス排気口に有効な VOC 処理装置設置の検討

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

VOCの排出量の目標数値の設定は自主判断としながらも、5年後のジクロロメタンの排出量が今年度の値を上回らないように作業環境改善に取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ①密閉型の洗浄設備、及びジクロロメタン再生設備を導入し、回収率を高め、大気排出量を抑制する。
- ②前工程の見直しにより、洗浄工程での洗浄液使用料の削減を検討する。
- ③ジクロロメタンに代わるリサイクル性の高い代替洗浄液への移行を検討する。密閉型の洗浄設備、及びジクロロメタン再生設備を導入し、回収率を高め、大気排出量を抑制する。

以上より、VOCの排出抑制に向けて努力を進める。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

自主的取組において、全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ① 未使用時における暴露軽減のための密閉用の蓋を設置するなど大気中への暴露対策（作業現場の公害防止策含む。）を実施。
- ② トリクロロエチレン回収装置の推奨。
- ③ 環境への配慮及び作業者の健康リスクを下げるために、トリクロロエチレンに変わる代替品の研究、情報収集など引き続き模索していく。
- ④ 関係組合員に対して環境改善セミナーや作業環境測定時にアドバイス（助言）指導を行う。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

全体として5年後に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

洗浄機メーカー等と一緒に、洗浄試験を実施し代替品の研究。
大気中に漏れないように、各社の工場内の環境や使用する洗浄装置に合わせた対策をすることにより排出抑制を促す。
そのためにも環境測定会社に組合から依頼し、洗浄装置や工場からの各箇所での濃度測定を実施した。

令和8年3月23日

団体名：(一社)日本ガス石油機器工業会

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。(定量目標は掲げない。また、増産等の影響による変動への是認を前提とする。)

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

- ①会員会社を対象にVOCの排出量調査（排出量、削減への取組み内容等）を実施し、その結果を会員会社に情報提供していく。
- ②具体的な取組の方策は、次の事項が主となる。
 - ・作業方法の改善等
 - ・原材料の転換・削減
 - ・設備導入・改良等

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

SS 販売業界における自主行動計画は本年度で終了であり、目標も基準年度比3割削減を達成しております。

石油製品は原材料の代替ができないものであります。また、今後の需要も減少が見込まれていることから、基本的には荷下ろし時・給油時のVOC排出は自然に減少していくことが想定されます。近年、気温上昇が激しい年もあり、対前年比で増加する可能性はあるが、一時的なものであり、基本的に減少していくことは変わらないと考えております。

このため、当業界としては新たな目標を設定することなく、ここで終了させていただきたいと考えております。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

計量機更新時の Stage2 対応機器の導入、新たに Stage1 機器の導入については啓発を続けていきたい。

1. 取組の目指すべき方向性

※「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（1）「取組の目指すべき方向性について」で示された4つの原則を御参照ください。

※例えば、「全体として5年後（又は3年後）に少なくとも平成22年度比で悪化しないように取り組んでいく。」など、目指すべき時期と方向性が分かるように記載をお願いします。

(記入欄)

当協会は特定業種を代表しているわけではなく、自主的取組を行っているが業界団体の自主行動計画に参加していない企業の「排出量報告の受け皿」や、自主的取組を実施したいと考える企業に対する支援を目的に、「VOC 自主的取組支援ボード」を運営している。

このため、支援ボード参加企業からの排出量全体が、毎年減少していくよう、VOC 排出抑制取組を呼びかけていく。

2. 取組の方策

※従来取り組んでいる方策に加え、「事業者等による揮発性有機化合物（VOC）排出抑制のための自主的取組促進のための指針」の2.（2）「取組の方策について」で例示された方策も御参照の上、記載をお願いします。

(記入欄)

支援ボード参加企業に対しては、広く VOC 対策に関する情報を提供すると共に、未参加企業に対しては、セミナー等の機会を活用して、自主的取組と支援ボードへの参加を呼びかけていく。

また、地域の中小企業からの相談にのりやすくするためには、地元企業と関係の深い地方レベルの一般社団法人や一般財団法人の役割が重要であり、これらの法人と産業環境管理協会がネットワークを組み、互いに応援や情報交換ができる体制を構築することが有効であることから、関係機関と協議しながら当該ネットワークの実現を目指していく。